

株主の皆様へ

第142期 中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで



株式会社 豊田自動織機

TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

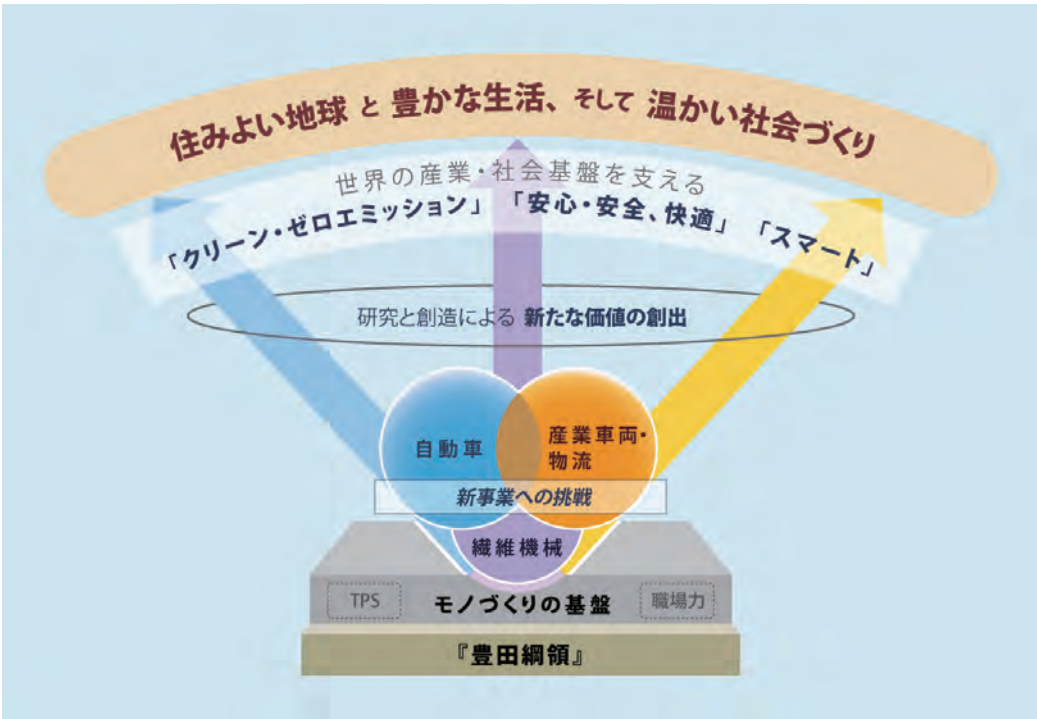
(証券コード 6201)

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。第142期中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

米中貿易摩擦や地域紛争などの地政学リスクの高まりにより、経済の先行きに不透明感があるなか、当社グループは、品質第一に徹してお客様の信頼にお応えしますとともに、各市場の動きに的確に対応し販売の拡大に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から9月30日までの6カ月間）の業績につきましては、増収増益となりました。中間配当金につきましては、前期の中間配当金から1株につき5円増配の80円とさせていただきました。

今後の持続的成長に向けた取り組みといたしましては、今年度策定した「2030年ビジョン」の考え方をベースに、産業車両・物流においては、物流ソリューション分野を中心に大きく伸ばす一方、自動車関連も各事業における当社の役割の拡大も含めて成長をはかっていきます。また、既存事業の強化・拡大とともに、当社の強みを活かして各事業の周辺分野や新領域を開拓し、将来に向けた新たな種まきも積極的に行っていきたいと考えています。



連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を459億円(4%)上回る1兆1,029億円となりました。利益につきましては、減価償却費の増加や為替変動による影響がありましたものの、営業面の努力、グループあげての原価改善活動の推進などにより、営業利益は前年同期を102億円(17%)上回る715億円、税引前利益は前年同期を97億円(10%)上回る1,080億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期を78億円(11%)上回る

さらに、安全をすべてに優先させた職場づくり、コンプライアンスの徹底はもとより、社会貢献へも積極的に参加するなど、広く社会の信頼に添えてまいります。地球環境保全に対しては、2050年のCO₂ゼロ社会を見据えた取り組みをグループ全体で進めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年11月

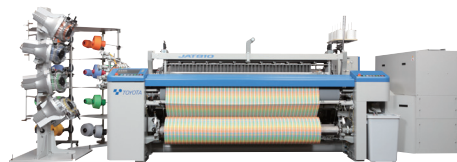
取締役会長 豊田 鐵郎
取締役社長 大西 朗

822億円となりました。また、1株当たり四半期利益は前年同期を25円上回る265円となりました。通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、連結売上高2兆2,200億円、営業利益1,350億円、税引前利益2,000億円、親会社の所有者に帰属する当期利益1,510億円にそれぞれ修正しております。為替レートにつきましては、通期で1USDドル107円、1ユーロ118円を前提としております。

事業別の概況

繊維機械

繊維機械におきましては、織機や繊維品質検査機器が減少したことにより、売上高は前年同期を58億円(16%)下回る302億円となりました。



織機
紡機
糸品質測定機器・綿花格付機器

産業車両

産業車両におきましては、フォークリフト事業と物流ソリューション事業の連携を深めることで、産業車両事業全体でのさらなる成長をはかっています。フォークリフト事業では高品質な商品の開発に加え、グローバルネットワークやIT技術を活用したきめ細かなアフターサービス、販売金融などバリューチェーン全体で事業拡大をはかっています。物流ソリューション事業では販売や開発など各分野でバスティアン社、ファンダランデ社、当社の3社が連携し、事業強化を進めています。その結果、主力のフォークリフトトラックが中国では減少したものの、日本で増加したことや、物流ソリューション事業で増収となったことにより、売上高は前年同期を295億円(4%)上回る7,272億円となりました。



フォークリフトトラック

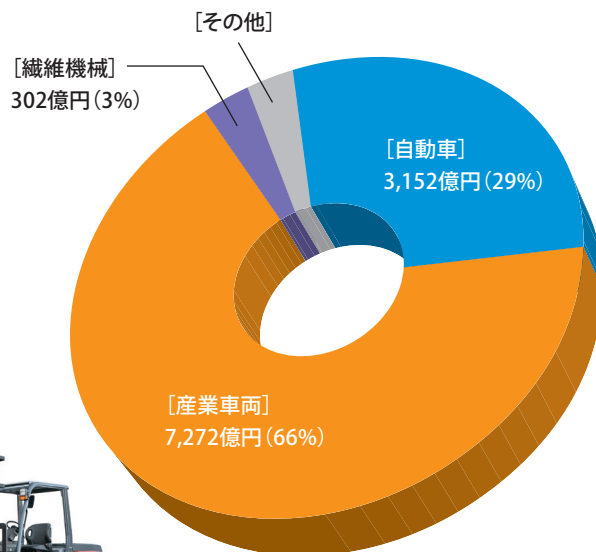


高所作業車



物流ソリューション
販売金融

第2四半期 売上高構成 ()は構成比
売上高 1兆1,029億円



自動車

自動車におきましては、売上高は前年同期を217億円(7%)上回る3,152億円となりました。

このうち車両につきましては、2018年11月に生産を開始した新型R A V 4が増加したことにより、売上高は前年同期を113億円(32%)上回る463億円となりました。

エンジンにつきましては、新型のA 2 5 A型およびM 2 0 A型ガソリンエンジンやG D型ディーゼルエンジンが増加したことにより、売上高は前年同期を124億円(25%)上回る617億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、日本では増加したものの、欧州など海外で減少したことにより、売上高は前年同期を44億円(3%)下回る1,693億円となりました。

電子機器・ casting品ほかにつきましては、 casting品が減少したものの、電子機器が増加したことにより、売上高は前年同期を24億円(7%)上回る378億円となりました。



車両
RAV4



エンジン
ディーゼルエンジン
ガソリンエンジン



カーエアコン用コンプレッサー
カーエアコン用コンプレッサー



電子機器・ casting品ほか
電子機器
エンジン用 casting品

連結決算

連結財政状態計算書の概要 (単位:百万円)

	前期末 2019年3月31日現在	当第 2 四半期末 2019年9月30日現在	増減
資産			
流動資産	1,623,784	1,620,953	▲2,831
非流動資産	3,637,390	3,843,702	206,312
資産合計	5,261,174	5,464,655	203,481
負債及び資本			
負債			
流動負債	957,365	916,232	▲41,133
非流動負債	1,741,872	1,834,887	93,015
負債合計	2,699,237	2,751,120	51,883
資本			
親会社の所有者に帰属する持分			
資本金	80,462	80,462	—
資本剰余金	103,507	103,515	8
利益剰余金	1,178,773	1,236,405	57,632
自己株式	▲59,297	▲59,302	▲5
その他の資本の構成要素	1,176,272	1,271,449	95,177
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,479,718	2,632,531	152,813
非支配持分	82,218	81,004	▲1,214
資本合計	2,561,936	2,713,535	151,599
負債及び資本合計	5,261,174	5,464,655	203,481

2016年度末より国際会計基準 (IFRS) を適用しています。

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

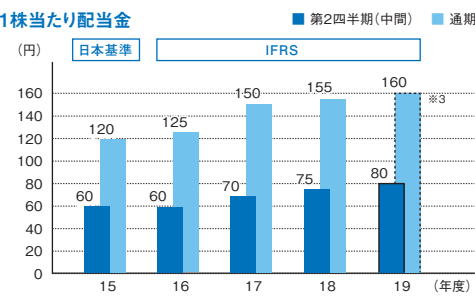
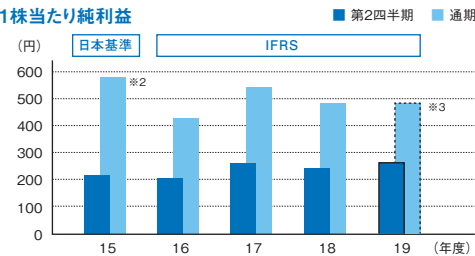
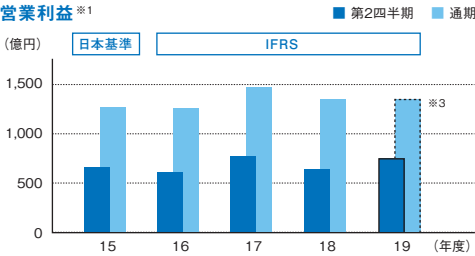
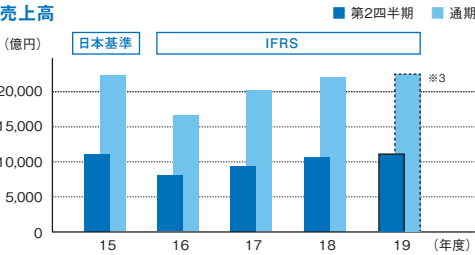
	前第 2 四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	当第 2 四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	増減
売上高	1,057,011	1,102,951	45,940
営業利益	61,397	71,582	10,185
税引前利益	98,391	108,059	9,668
純利益	74,408	82,284	7,876

中間配当について

2019年10月31日開催の当社取締役会決議により2019年9月30日の最終の株主名簿に記載もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当金をお支払いします。

中間配当金	効力発行日ならびに支払開始日
1株につき80円	2019年11月26日

2016年度末より国際会計基準 (IFRS) を適用しており、2016年度第2四半期もIFRSベースに組み替えて表示しています。



※1：2015年度以降、産業車両の販売金融事業の営業外金融収支を営業内へ組み替えております。

※2：2015年度は、子会社株式の売却に伴う特別利益を計上しております。

※3：2019年度の通期業績および年間の配当金については見込みです。

産業車両事業でグループの総合力を活かした事業展開

近年、eコマース市場の拡大に伴い、物流センターにおいて多様かつ高度な物流課題の解決が求められるなど、物流ソリューションのニーズがグローバルに拡大しています。

当社は2017年から当社グループに加わったファンダランデ社およびバスティアン社とともに事業を強化すべく、販売面での連携に加え、ニーズ拡大が見込まれる自動化技術の開発などを進めています。

自動化の分野では、当社はすでにAGV（無人搬送車）やAGF（無人フォークリフト）の開発・販売を行っており、屋内の製造・物流現場を中心に活用されています。これらの経験を活かし、カメラやレーザーなど周辺形状認識技術を組み合わせ、屋内と比較して位置認識の難易度が高い屋外でも運用可能な、次世代の無人フォークリフトの開発も進めています。

さらに、ファンダランデ社の自律走行型手荷物搬送システム（FLEET）は、オランダのロッテルダム・ザ・ハーグ空港ですでに稼動を開始。荷物量の増減などに対し、レイアウトの変更やシステム拡張などへの柔軟な対応が可能で、香港国際空港や米国のダラス・フォートワース空港でも試験運用を進めています。

2019年4月には、米国のシカゴで開催された北米最大の産業車両展示会ProMat 2019に当社グループの各ブランドが共同でブースを設け、それぞれの強みを紹介するとともに、お客様の多様な物流課題への対応力をアピールしました。

今後も当社グループの総合力を活かした事業展開で、産業車両事業全体の成長に努めていきます。



▲本格稼動を開始したFLEET



▲ProMat 2019での当社グループブース

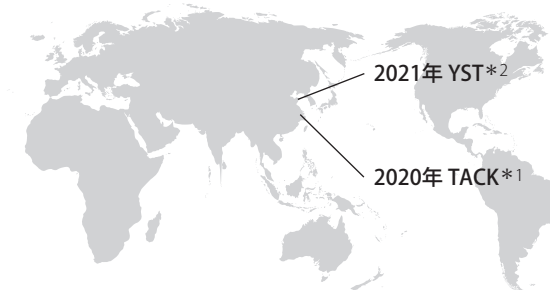
カーエアコン用電動コンプレッサーを中国で生産開始

世界各国の環境規制強化やお客様の省エネ意識向上の流れを受け、クルマの電動化が進展しています。それに伴い、ハイブリッド車や電気自動車などの電動車に搭載されるカーエアコン用電動コンプレッサーの需要拡大が見込まれています。

当社は、2003年に世界初の電動タイプの量産を開始して以来世界シェアNo.1を堅持しており、累計生産2,000万台以上を達成しています。

現在は、同タイプを日本で生産していますが、世界最大の自動車市場である中国で電動車の急速な普及が見込まれることから、2020年初旬より現地生産を推進して旺盛な需要を取り込んでいきます。

併せて、小型化・高性能化にも取り組み、電動車のさらなる電費・空調能力の向上に貢献していきます。



*1: 豊田工業電装空調圧縮機(昆山)有限公司

*2: 烟台首钢豊田工業空調圧縮機有限公司

小学校放課後クラブの児童を対象に工作教室を実施

当社では、従業員一人ひとりが社会とのつながりを意識し、社会貢献への関心を高めるため、ボランティア情報の共有やボランティア活動の場の提供などを行っています。職制会*3においても、社会福祉施設の支援や自然保護活動を行うなど地域での貢献活動に努めています。

2019年7月、全社で組織している課長会は愛知県内の小学校の放課後クラブを訪問し、1年生から6年生までの64名を対象に工作教室を開催しました。この活動は子供達にモノづくりの楽しさを学んでもらうことを目的としており、メンバーが工作指導員となって、おもちゃのクルマづくりを丁寧に教えました。最後に完成したクルマをミニコースで走らせることで、自分でおもちゃを作り、遊ぶ楽しさを実感してもらいました。

*3: 会社の職位別に組織されている自主組織。

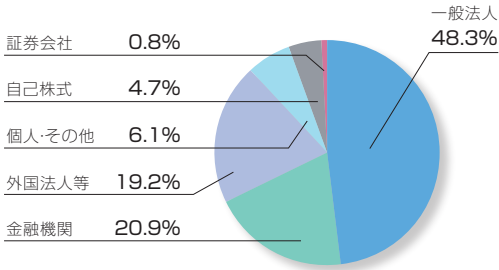


▲職制会による工作教室

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,100,000,000株
発行済株式総数	310,484,451株 (自己株式 15,356,189株を除く)
株主数	15,597名

所有者別株式の状況



会社の情報 (2019年9月30日現在)

設 立	1926年11月18日	従 業 員 数	連結 66,255名、単独 14,074名
資 本 金	804億円	本社所在地	〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地 TEL 0566-22-2511 (代表)

■取締役	■監査役
取締役会長 豊田 鐵 郎	常 勤 監 査 役 古 川 真 也
取締役社長 大 西 朗	常 勤 監 査 役 小 河 俊 文
取締役副社長 佐々木 一衛	社外監査役(独立) 水 野 明 久
取締役副社長 佐々木 卓夫	社外監査役(独立) 友 添 雅 直
取 締 役 山 本 卓	
取 締 役 水 野 陽 二 郎	■ 経 営 役 員 ※取締役を兼任
取 締 役 石 崎 裕 二	大 西 敏 文
社外取締役(独立) 隅 修 三	山 本 卓 ※
社外取締役(独立) 山西 健 一 郎	福 永 恵 一
社 外 取 締 役 加 藤 光 久	水 野 陽 二 郎 ※
	石 崎 裕 二 ※
	川 口 真 広
	伊 藤 浩 一

株式についてのご案内

■ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで	■ 株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 定時株主総会 6月	■ 上 記 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
■ 配当金支払株主確定日 3月31日 なお、中間配当を実施するときは9月30日	

単元未満株式買取・買増制度のご案内

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式（100株未満）については市場で売買できません。
ご所有の単元未満株式の売買をお考えの場合は、以下の制度をご利用ください。

●単元未満株式**買取**制度 単元未満株式を**当社にご売却**いただくことができます。

●単元未満株式**買増**制度 単元株式（100株）にするために、不足分を**当社からご購入**いただくことができます。
お手続きの詳細につきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）までお問い合わせください。

特別口座の株式について

「特別口座」の株式は、単元株式（100株）であっても、特別口座のままでは市場で売買できません。
「特別口座」にご所有の単元株式について売買をお考えの場合は、「特別口座」から「証券口座」への株式のお振替をお願いいたします。
お手続きの詳細につきましては、三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

株式に関するお手続きのお問い合わせ先

ご所有されている株式の口座区分	お問い合わせ先
特 別 口 座	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
証 券 口 座	口 座 を 開 設 さ れ て い る 証 券 会 社 ※

※：未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

この中間報告書に含まれる将来に関する記述は、現在において入手可能な情報に基づき記載されたものであり、実際の業績は、経済情勢・為替相場の変動等に係るリスクや不確実性により、記述と大きく異なる可能性があります。



▲職制会による海水浴シーズン前の清掃活動(愛知県内海海岸)



▲DC-ACインバーター結合器を活用した配水ポンプ稼動の実証実験

 **株式会社 豊田自動織機**
TOYOTA TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地
TEL 0566-22-2511 (代表) FAX 0566-27-5650
ホームページ <https://www.toyota-shokki.co.jp/>